

おわりに

この「ご家族のための がん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」では、人生の限りある時間をご家族みんなで今までどおり家で穏やかに過ごすためのさまざまなヒントや助けがあることを、ご紹介しました。

大切な人が次第に弱り、いずれ亡くなっていくことをそばで見ているのはつらいことかもしれません。

でもそのとき、ご本人は住み慣れた地域で、ご本人が主人公である家で、ご家族とともに、これまで生きてきた人生の歩みをまとめようとしているのです。

ご家族がご本人と一緒に、人生の集大成である最期の日々を歩んでいただくことは、大変なことでもあり、また素晴らしいことでもあるでしょう。

大切な人を亡くすという経験したとき、ご家族や周囲の方は、これまでの関わりが強ければ強いほど、悲しさや無力感などを感じることでしょう。一方で、日々の生活はとても忙しくなるかもしれません。

また、さまざまな気持ちや生活上の変化を通じて、大切な人をそのときどきで想うこともあるでしょう。そしてご家族にとって大切な人は、これからも家族の一員として心のなかですっと生き続けるのかもしれない。

そのようなご家族、ご遺族の歩みを私たちは応援したいと思います。

ご本人を含めたご家族、ご遺族の方々が、その人らしい暮らしを維持しながら、一日一日を大切に過ごしていただけるように、全国各地で少しずつ支援の輪が広がってきています。

この本が、日々の過ごし方を考えているご本人やご家族、大切な人を失ったご遺族の皆さまを支えるガイドとして、お役に立つことができれば幸いです。

「地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報プロジェクト」チーム 一同